

## 第2学年美術科学習指導案

2年4組 男子22名 女子18名 計40名  
指導者 萩原至道

### 1 題材名 私、こういうものです。—自分を伝えるデザイン—

(学習指導要領に関する内容) 第2学年及び第3学年

A表現 (2) イ 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

(3) ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。

B鑑賞 (1) ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

[共通事項] (1) ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

### 2 題材について

#### (1) 題材観

本題材では、自分自身について相手に分かりやすく伝えるために、表現方法を工夫して名刺を制作する。名刺とは、現代社会において重要なビジネスツールであり、コミュニケーションツールでもある。名刺のもつ役割とは自分についての情報提供と興味喚起である。55mm×91mmの紙の面積に、いかに自分の伝えたいことを入れ、分かりやすく構成するかがポイントとなる。本題材では、7月にある職場体験に向けて、事業所の方に自分について伝える名刺を作ることを目的とした。単なる自己紹介ではなく、相手を意識した名刺の内容となるよう、伝えたい自分とは何かを明確にし、伝えたい自分が伝わるよう、それに応じた文字や絵、形、色を工夫して表現する。名刺に書く内容は、表に自分の所属と名前、キャッチコピー、裏に自己PRを書くことを基本とし、名刺の紙はケント紙、画用紙、和紙の中から、描画材料は鉛筆、ミリペン、ボールペン、サインペン、筆ペン、パステル、クレヨン、色鉛筆、アクリルガッシュなどの中から意図に応じて選択させる。また、互いに伝えたいことが伝わる美しく、分かりやすく、興味をひく名刺を制作できるよう、発想や構想の段階にグループで名刺のデザインのアイデアを練り合う時間をもつ。どのような工夫をすれば伝えたいことが伝わるのか、それはどのような理由からなのかを明確にして話し合うことで、主題と表現が一致した作品制作につながると考える。

#### (2) 生徒観

生徒はこれまでに、オノマトペをテーマにした上履きズックのスケッチや自分の思いや考えを一文の絵文字で表す制作を通して、自分の感じたことを基にイメージをもち、それを表すために大きさや配置といった構図、描くものの形、色彩、描画材料などを表現意図に合わせて工夫することが大切であると学んだ。またモダンテクニックを用いた詩の制作では、偶然出来上がった形や模様、色彩などから感じられることを基に詩に表す活動を通して、形や色彩、材料などの様々な要素とそれらがもたらす感情の関連性について考えて制作することができた。

美術の授業に意欲的に取り組む生徒は多く、楽しんで表現活動に取り組んだり、自分の考えをもって鑑賞活動をしたりする姿が見られる。しかし、自分の考えを曖昧にしたまま目標もなく、ただなんとなく作品を作る生徒や鑑賞では作品のよさや美しさについて深く考えずに終える生徒も見られる。本題材では、名刺制作を通して相手に伝えたい自分をどのようにして、美しく、分かりやすく、興味をひくように伝えるかを考えていく。何を伝えるのか明確に主題をもつこと、その主題を文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩など、具体的にどのような工夫をして表現し

ていくのか明確な考えをもつことなど、発想や構想の段階を充実して授業を進めていきたい。

### (3) 指導観

本題材においては、単なる自己紹介ではなく、相手に、自分の伝えたいことが伝わる名刺の内容となるよう、伝えたい自分とは何かを明確にし、それに応じて文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などの効果的な表現方法を考える活動を個人、グループで随時取り入れていきたい。伝えたい自分を明確にしていくために、自分の性格や特徴、できることなど、「自分分解」(自分のイメージマップづくり)をして、そこから自分とは何か見いだせるようなワークシートの内容を考えたい。そして、伝えたい自分が相手に伝わる名刺のデザインにするためには、文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などをどう工夫すればよいか、それはどのような理由なのかを明確にできるよう、「自分の伝えたいことを伝えるための工夫」と「分かりやすく伝えるための工夫」という2つの点で考えさせたい。また、グループで名刺のデザインのアイデアを練り合う時間を設け、個々で考えたこともち寄り、話し合うことで、違う価値観を受け入れるなどして考えを深め、より主題と表現が一致した作品制作につながるようにさせたい。話し合いから気づいたことや考えたことをワークシートに記述させることで、生徒自らの考えをまとめさせ、振り返らせるとともに、教師が生徒の思考の質を見とることに繋げていく。

### 3 題材の目標

- ・自分を伝えるという伝達のデザインに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。(表現)
  - ・自分を伝えるデザインについて、作者の意図と創造的な表現の工夫、伝達性と美しさの調和などに関心を持ち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。(鑑賞)
- 【美術への関心・意欲・態度】
- ・自分について相手に伝えるために、形や色彩などの効果を考え、美しく、分かりやすく、興味をひく表現の構想を練ることができる。 【発想や構想の能力】
  - ・伝えたい内容を効果的に伝えるために、材料や表現方法の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。 【創造的な技能】
  - ・造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫、伝達性と美しさの調和など感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。 【鑑賞の能力】

### 4 全体計画 (全6時間)

次	学 習 活 動	評 価 規 準 <u>〔共通事項〕</u>	配時
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「名刺とは何か？」を学ぶ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺の役割と力について学ぶ。</li> </ul> </li> <li>○「自分分解」(自分のイメージマップづくり)をして、自分とはどういう人間かを知る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の性格や特徴、特技などを再認識する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を伝えるという伝達のデザインに関心を持ち、主体的に名刺を通して伝えたい自分を考え出そうとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【美術への関心・意欲・態度】 (ワークシート)</p>	1
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたいことが伝わる名刺のデザインを考える               <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい自分を表すために名刺の構成を考える。</li> </ul> </li> <li>○アイデアスケッチの検討をする               <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでアイデアスケッチを検討し、より分かりやすく、興味をひくデザインについて考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい自分を形や色彩などの効果を考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【美術への関心・意欲・態度】 (アイデアスケッチ、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい自分を表すために、<u>文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などの効果を考え、美しく、分かりやすく、興味をひく表現の構想を練ることができる。</u>【発想や構想の能力】 (アイデアスケッチ、ワークシート)</li> </ul>	2 (本時2/2)

3	<p>名刺を制作する</p> <p>○アイデアスケッチを基に名刺を制作する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や表現方法を選択し、創意工夫して制作する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>伝えたい内容を効果的に伝えるために、材料や表現方法の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</u></li> </ul> <p>【創造的な技能】 (制作の様子、作品)</p>	2
4	<p>名刺の鑑賞をする</p> <p>○名刺交換のマナーを学び、名刺交換する。</p> <p>○相互鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの作品を鑑賞し、分かりやすく、興味をひく表現や工夫を感じ取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を伝えるデザインについて、作者の意図や伝達性と美しさの調和などに関心を持ち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> </ul> <p>【美術への関心・意欲・態度】 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫、伝達性と美しさの調和など感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。</u> 【鑑賞の能力】 (ワークシート)</li> </ul>	1
課外	<p>名刺を手渡す</p> <p>○職場体験の訪問先で名刺を手渡す。</p>	(ここでは評価しない)	課外

## 5 本時の学習

### (1) 目標

アイデアスケッチを見直し、伝えたいことを効果的に表すための工夫について考え、美しく、分かりやすく、興味をひく表現の構想をまとめることができる。

### (2) 取り上げる言語活動

話し合い

### (3) 期待される効果

本時の学習では、各グループで代表者のアイデアスケッチを基に、作者が伝えたい内容を相手に分かりやすく、美しく伝えるにはどのような工夫をすればよいか話し合い、互いに共通に感じる形や色彩などの印象や感情効果を考えて名刺のデザインを見直していく。そして、この話し合いから、自分の思いや意図と文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などの効果との関連性に気づき、伝えたいことが伝わる表現にするためには、何を、どんな効果をねらって、どう工夫するか明確にして構想をまとめることができるようになる。

### (4) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点と評価 (●)
○ 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが伝わる名刺のデザインにするために、ポイントとなる名刺の要素（文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩など）について確認する。</li> </ul>
<p>伝えたい自分が伝わる名刺のデザインにするためには、名刺の要素を視点としてどのように見直せばよいか。</p>	

○ グループごとに代表者のアイデアスケッチを見て、より伝えたいことが伝わる名刺にするためにはどのような工夫をすればよいか話し合う。話し合ったことを基に修正版のアイデアスケッチを描く。

- ・真面目さを出すために、名前の書体は整ったイメージのある明朝体にしたらどうだろうか
- ・文字は黒一色でもいいが、青系の同一色相の配色にするとすっきりとまとまり、爽やかさが出ると思う
- ・優しさを表すには、背景にパステルで水玉を描くと柔らかい感じがして伝わると思う
- ・文字の配置は斜めにして、行ごとに角度を変えると動きが出て活発な感じがする
- ・名前を立体的にするのは目立つけど、角度をつけすぎると読みにくいので、角度を調整してみよう

○ グループで話し合ったことを全体に広げる。

○ 各グループの発表や、話し合ったことを参考に、より伝えたいことが伝わるように自分の名刺のデザインを見直す。

○ 本時のまとめをし、次時の学習内容を確認する。

- ・名刺の要素を視点に工夫点を考えられるよう、文字の書体や大きさ、配置の仕方、材料、色彩から感じられるイメージが分かる資料を用意する。
- ・話し合いでは、伝えたいことが伝わる名刺のデザインにするために、何をどう工夫して、どんな効果をねらったのかを明確にさせる。

#### 言語活動を通じた見取り

おおむね満足 (B)

- 作者の思いや意図と文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などから感じられるイメージとの関連性を考え、伝えたいことが伝わる表現の工夫をまとめることができる。【発想や構想の能力】  
(アイデアスケッチ、ワークシート)

指導の手立て (C)

- 作者の思いや意図を表すためにどう工夫すればよいか分からない生徒には、文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩から感じられるイメージとの関連性を、参考資料を示しながら考えさせ、作者の意図に応じた効果をもつ工夫に気付かせる。
- ・発表では、伝えたいことが伝わる名刺のデザインにするために、何をどう工夫して、どんな効果をねらったのかという視点をもって発表させる。
- ・実物投影機で元のアイデアスケッチと話し合い後のアイデアスケッチを映し出し、工夫の効果が見えるようにする。
- ・各グループの発表や話し合いを参考にアイデアスケッチを見直し、修正点や追加点は赤ペンでワークシートにかき加えるよう伝える。
- 伝えたい自分を表すために、文字の書体や大きさ、配置、材料、色彩などの効果を考え、美しく、分かりやすく、興味をひく表現の構想をまとめることができる。【発想や構想の能力】  
(アイデアスケッチ、ワークシート)
- ・各グループの発表や話し合いを参考に、より分かりやすく、美しいアイデアスケッチができている生徒を把握しておき、意図的指名をする。
- ・アイデアスケッチを基に名刺の制作に入ることを伝える。